RISO

会社案内

理想科学工業株式会社

世界に類のないものを創る



理想科学は、ペーパーコミュニケーション分野において、独自の製品・サービスを提供する開発型企業です。

1946（昭和21）年に謄写印刷業として創業し、その後にインクの開発・製造を開始しました。「世界に類のないものを創る」を開発ポリシーとして新製品の開発に努め、事務用サプライ品メーカーから印刷機・プリンターメーカーへと業容を変化させてまいりました。現在、主力製品のデジタル印刷機「リソグラフ」、高速インクジェットプリンター「オルフィス」は、世界190以上の国や地域において幅広くご活用いただいております。

理想科学がめざしているのは、お客様も気づいていないような本当に必要な価値を創造し、製品やサービスという形にすることです。時代の変化を先取りし、こんなものが欲しかった、これは便利といわれるような、お客様の感性に強く訴える魅力的な製品を提供することをめざしています。

新しいプリントワークの可能性を追求し、世界中のお客様に満足していただくために、理想科学は新たな製品・サービスの創出に挑戦し続けます。

代表取締役社長 社長執行役員　羽山 明



ORPHIS



世界最速・独自のカラーソリューションで、カラー出力の常識をくつがえし ビジネスの可能性を広げる―「オルフィス」

～コストを気にせず、大量にカラー出力できるオフィス環境を実現～

1990年代後半、「カラー出力はコストが高く時間もかかる」というのが常識でした。オフィスで使われるプリンターはモノクロが主流で、出力単価の高いカラープリンターはまだまだ手の届かない存在でした。

そうした既成概念を打ち破り、モノクロ出力並みの手軽さで「カラーをもっと身近に」したのが、高速インクジェットプリンター「オルフィス」です。高速性・経済性を徹底的に追求し、世界最速毎分180枚※1のプリントスピードと、カラーにもかかわらず1枚あたり1.29円※2の低ランニングコストを実現。写真を活かしたカラーチラシや、見やすい色分けグラフを載せたプレゼン資料など、それまではコスト面で諦めていた大量カラー印刷を、コストを気にすることなく、気軽に出力することを可能にしました。その圧倒的なポテンシャルは、会議資料や帳票づくりはもちろん、マニュアル、パンフレット、ポスター、DM、教材づくりなどの幅広い用途に柔軟に対応します。

「オルフィス」はワンランク上の効率的なプリントワークを実現し、世界中のビジネスシーンで活躍しています。

※1：GN9830/GN9831/GN9830プレミアムの場合。A4普通紙片面横送り、標準設定連続プリント、GDフェイスダウン排紙トレイ使用時。オフィス用カラープリンターにおいて世界最速（データ・サプライ調べ：2026年4月現在）。2003年の発売以来、世界最速を更新中。

※2：A4普通紙片面、RISO GNインク F使用時。カラーは解像度300dpi、測定画像にISO/IEC24712に定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711にならい当社独自の測定方法によって算出。モノクロは解像度600dpi、測定画像にISO/IEC19752に定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711にならい当社独自の測定方法によって算出。用紙代別。本単価は、より実際の使用環境に近い新指標を用いて算出しており、インクの消費効率自体は従来機種（GLシリーズ）と同等です。



高速インクジェットプリンター
ORPHIS



RISOGRAPH



世界190以上もの国や地域で活躍
孔版印刷の可能性を
大きく広げる「リソグラフ」

～簡単かつ低コストで、高速・大量印刷を可能に～

リソグラフの原点は、エジソンが発明した、孔版印刷のひとつ「謄写版（ガリ版）」。

理想科学は長きにわたり、この孔版技術にこだわり続けています。孔版印刷は、版に孔（あな）を開け、その孔を通してインクを転写させる印刷方式です。この方式は非常にシンプルである反面、製版や印刷工程に時間と手間のかかるものでした。

そこで理想科学は、1980年に孔版印刷の原理と独自の技術を融合させ、手を汚さず、コピー機のように誰でも簡単に使える、まったく新しい印刷機「リソグラフ」を開発しました。他の方式のプリンターに比べ、同じ原稿を大量に印刷する際にコスト・スピードの面で格段に優れており、さらに幅広い紙質や紙厚にも対応できます。

こうした「高速・大量印刷・簡単操作・低コスト」という特長が幅広い支持を受け、世界190以上の国や地域の教育機関、官公庁、企業、店舗などで使われています。また、世界中の多様な要望を受けて絶えず進化し続ける「リソグラフ」。機能面はもちろん、消費電力を抑えるなど環境面の強化も図っています。



デジタル印刷機
RISOGRAPH



GOCCOPRO MiScreen a4

スクリーン印刷の生産効率を高める デジタルスクリーン製版機

理想科学のデジタルスクリーン製版機は、乳剤製版に比べて、製版プロセスを大幅に削減でき、暗室や洗い場などの設備も不要です。消費電力が少なく排水を生じない「RISOドライ感熱製版システム*」によって、スクリーン印刷の生産効率を高めることが可能です。プロフェッショナルモデルの「GOCCOPROシリーズ」、コンパクトモデルの「MiScreen a4」をラインアップしています。また、さまざまな用途にお応えするスクリーンマスターも取りそろえております。

*RISOドライ感熱製版システム：フィルムと紗をラミネート加工したスクリーンマスターをサーマルヘッドの熱で穿孔させるCTS（Computer to screen）システムです。



GOCCOPROシリーズ

MiScreen a4

Integlide

小ロットパッケージ印刷の課題を解決する インクジェットプリントエンジン

Integlide（インテグライド）は 2024 年に誕生した理想科学の新ブランド。パッケージ（段ボール、クラフト袋、紙袋、紙器等）にオンデマンドフルカラー印刷するインクジェット方式のプリントエンジンで、小ロットのパッケージ印刷に必要なプリントワークを集約できる、これまでになかったコンセプトの製品です。



プリントシステム構成例（下方向の場合）



※用途事例（写真はイメージ）

クラウドサービス

便利で使いやすい 理想科学のクラウドサービス

学校向けソリューションサービス「スクリレ」

「スクリレ」は2021年から開始した学校と保護者をつなぐ連絡手段をデジタル化するソリューションサービスです。スマートフォン用アプリケーションを使い、教職員と保護者をサポートするだけではなく、充実した教育環境の実現も応援します。



文書の見やすさ自動判定ツール「ヨミヤス」

「ヨミヤス」は2023年から開始した文書の「見やすさ」や「読みやすさ」を自動で判定するクラウドサービスです。本サービスは、申込書などの文書が、見やすく読みやすくデザインされているかを定量的に検証し、基準を満たしていない箇所を自動で可視化します。

ヨミヤス

授業ですぐに使えるデジタル教材「デジパル」

「デジパル」は2025年から開始した先生がICTを活用した授業ですぐに使えるクラウドサービスです。小学1年生から6年生の単元計画や教材マニュアル、プログラミング教材をセットにしました。

デジパル

インクジェットヘッド

理想テクノロジーズ株式会社

さまざまな分野の 多様な印刷ニーズに応える インクジェットヘッド

インクジェットヘッドの開発・製造・販売は、静岡県を主要拠点とする理想テクノロジーズ株式会社が行っています。

インクジェット技術は、微小なインク滴を対象物に向けて正確に吐出し、対象物に直接触れることなく印刷することができます。この技術は、インクとの組み合わせで、紙、プラスチック、フィルムなど多様な材質や形状の対象物に対して高品質な印刷を可能とします。

理想テクノロジーズの特長あるインクジェットヘッドは、さまざまな分野の印刷ニーズにお応えするとともに、日々進化を続ける印刷技術の中で重要な役割を担っています。



※用途事例（写真はイメージ）



インクジェットヘッド

活動紹介

研究開発

開発ポリシーは「世界に類のないものを創る」。新しい価値を創造し、役立つ製品を創り出すことが、理想科学のものづくりです。



理想開発センター

理想科学 3つのコア技術

インク開発技術

理想科学は、1954年に国内で初めてエマルジョンインク「RISOインク」の開発に成功して以来、プリンターの「速さ」と「美しさ」を創り出す、さまざまなインク技術の開発に取り組んでいます。

ORPHIS

世界最速のカラープリントを支える油性インク

家庭用やオフィス用インクジェットプリンターで採用されているインクは、水性インクです。水性インクを用いると用紙が水を吸収し、波打ちやカールなどの変形が起こりやすく、高速用紙搬送する際にシワができやすくなってしまいます。一方、「オルフィス」が採用する油性インクは、印刷直後の用紙の変形がなくスムーズな用紙搬送が行えるため、高速印刷に適しています。



用紙変形の少ない油性インク

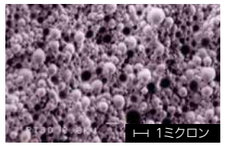


波打ちやカールなどの変形が起こりやすい水性インク

RISOGRAPH

国内初、理想科学が開発したエマルジョンインク

「リソグラフ」のインクは、界面活性剤（乳化剤）の働きにより、混じり合わない「油分」と「水分」を安定した液状に保たれています。身近な例としては、マヨネーズ、バター、牛乳、化粧用クリーム、木工用接着剤など。油分・水分・顔料の配合バランスと加工条件を最適化することにより、印刷機の中で乾かず、印刷されるとすぐに乾くエマルジョンインクの開発に成功しました。



エマルジョンインクの拡大写真

RICE INK®

世界初、ライスインク開発に成功

孔版インクとしては世界初となる国産米ぬか油を配合したインク開発に成功。本来廃棄される米ぬかを資源として有効利用することで、環境配慮と共にインク品質の向上を図りました。



「RISOインクFIIタイプ（ブラック）」が生物由来の資源を活用する商品に付与される「バイオマスマーク」を取得

デジタル印刷機「リソグラフ」の消耗品「RISOインクFIIタイプ（ブラック）」は生物由来の資源を活用する商品に付与されるバイオマスマークを取得しました。当社は今後も環境負荷低減を目指した製品づくりを行っていきます。

バイオマス No.230192

リソグラフSJシリーズ

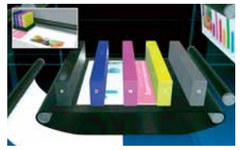
高速用紙搬送技術

孔版印刷機「リソグラフ」で長年培った
“大量・高速印刷”を実現する「高速用紙搬送技術」は、
高速インクジェットプリンター「オルフィス」へも受け継がれ、
理想科学のコア技術のひとつとして進化し続けています。

ORPHIS

確かな搬送技術で世界最速毎分180枚※1のスピードを実現

「オルフィス」は、インクジェット印字ヘッドの下を高速で搬送される用紙にインク滴を着弾し、フルカラーを高速処理するプリンターです。印字ヘッドからのインク吐出と用紙搬送のタイミングがずれると、画像をきれいに印刷できません。「オルフィス」の最大の特長である世界最速のプリント、そのスピードには正確な用紙搬送が関係しています。


並列に配置されたライン型
インクジェット印字ヘッド

※1：GN9830/GN9831/GN9830プレミアムの場合。A4普通紙片面横送り、標準設定連続プリント、GDフェイスダウン排紙トレイ使用時。オフィス用カラープリンターにおいて世界最速（データ・サプライ調べ：2026年4月現在）。

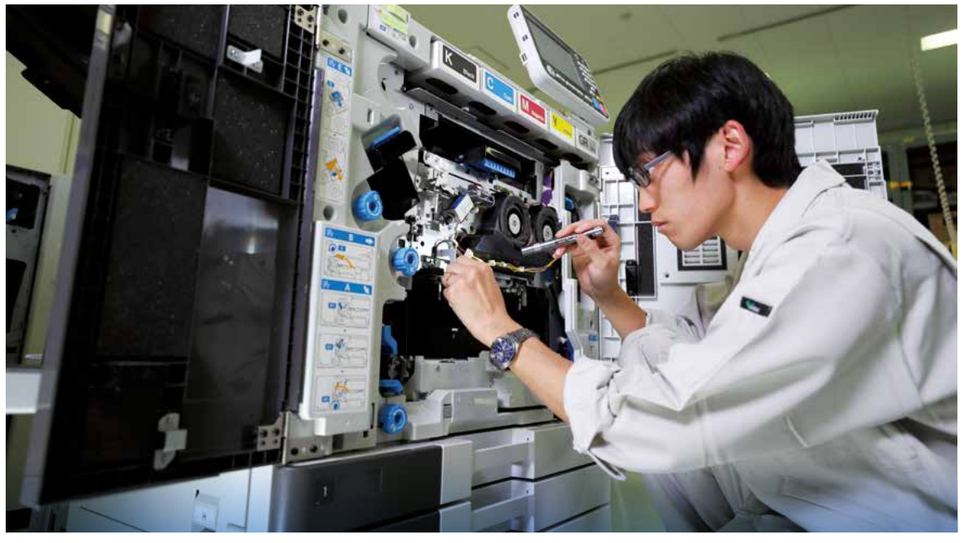
RISOGRAPH

最高毎分200枚※2のスピードを実現する長年培った高速用紙搬送技術

「リソグラフ」は孔版印刷方式を採用。印刷の元となる版を印刷ドラムに巻き付け、ドラムの下を高速で搬送される用紙に下からプレスし転写して印刷します。転写後、ドラムに付着した用紙をすばやくはがし、速やかに排紙台へ送ります。一連の作業をスムーズに行い、インクを均一に転写。ムラのないきれいな印刷を可能にしました。


ドラムの下を高速で搬送される用紙

※2：SJ939/SJ939Gの場合。ドラム内部の温度が15℃以上で使用可能。ただし、25℃未満では規定の印刷速度が出ない場合があります。
SJ939はA3・B4サイズで160枚・200枚/分プリント時に排紙台のフェンスを用紙サイズより広めにセットする必要があります。



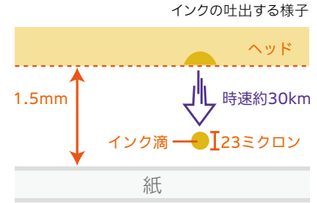
印刷プロセス最適化技術

印刷スピードや印刷品質を高めるためには、
ハードの特性に合わせたサプライの開発と、
サプライの特性に合わせたハードの開発がきわめて重要です。
理想科学は、両者をマッチングし、
常に印刷プロセスの最適化を図っています。

ORPHIS

油性インクの特性にあわせたハードの開発

高速できれいな印刷を実現するためには、インクジェット印字ヘッドからミクロン単位の微小なインク滴を“速く”吐出し、かつ“正確に”用紙に着弾できるようコントロールすることが必要です。インク滴の飛翔状態を評価し、数々の条件・組み合わせを検証し、安定した高速印刷のための最適化を行っています。



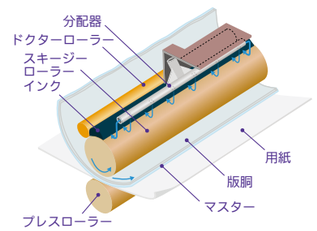
インクジェットのヘッドから出たインクは、水鉄砲のように1.5mm離れた紙に向かって1秒間に7～10メートルの速度（時速約30km）で着弾

RISOGRAPH

エマルジョンインクの特性にあわせたハードの開発

世界中で使われている「リソグラフ」は、さまざまな気候・環境下でも、常に安定した印刷品質を保つことが重要な課題です。そのため、一般的なオフィス環境はもちろん、さまざまな使用環境を想定し、徹底して印刷品質評価を行っています。

インクは暑い場所では柔らかく、寒い場所では硬くなる特性があります。その特性に合わせ、常に一定の品質で印刷できるようハードを制御しています。



最適な量のインクを均一に移転させる、
印刷ドラムの多層構造



活動紹介

生産



筑波事業所



リソグラフのインクボトルとリサイクル成型品

リユース・リサイクルを促進

使用済みの製品・部品は可能な限り再利用を行っています。回収された製品は厳しい品質基準に合格した再使用部品のみを使用。リユース・リサイクル率98%*を達成しています。

使用済みデジタル印刷機は、再使用部品と消耗品部品に分別し、自社の厳しい品質保証基準に合格した再使用部品だけを製品に使用。使用済みインクボトルは細かいペレット状に加工し、インクボトル部品の一部や、新たなプラスチック製品として再生しています。「オルフィス」の使用済みインクカートリッジも素材別に分別し、紙外装部は製紙原料へ、紙外装部以外の部分は運搬用パレットや代替燃料としてリサイクルしています。

(*2025年度生産実績より算出)



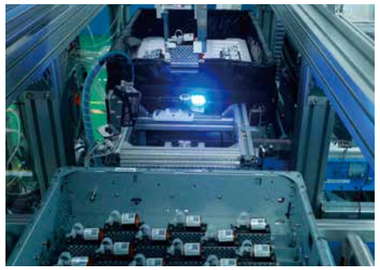
グローバルサプライチェーンを構築し、世界中のお客様に最良の品質をお届けして います

世界中で高い評価を受けている「RISOブランド」。国内の茨城県、山口県に加え、海外では中国、タイに生産拠点を配置。生産のグローバル化が進む中、国内の生産技術を海外でも応用し、スムーズな生産立ち上げや量産維持を実現するために、海外生産拠点での技術指導を行っています。グローバルサプライチェーンを構築し、材料の調達から出荷に至るすべての流れの中で、ものづくりのあり方を徹底的に追求しています。

課題の共有化と早期解決をめざしたコンカレントエンジニアリング手法の導入もそのひとつです。製造部門は研究開発の早い段階から開発部門と連携し、安定した品質で効率よく量産できる生産体制を構築しています。

量産の維持と品質を標準化するために、3D CADを使って治具(生産するための道具)を設計し、自社製作しています。また、生産全体が効率よく流れるようシミュレーションし、生産ラインの設計も行っています。

生産計画でも、営業部門と製造部門が細かく分析した市場データを共有し、フレキシブルに実行しています。必要なものを、必要なときに、必要な量だけ生産することで、市場のニーズに柔軟に対応するとともに、省資源・省エネルギーと環境負荷の低減に努めています。



インクジェット印字ヘッドユニットの組み立て治具を内製

活動紹介

海外展開



世界最大規模の印刷総合見本市
「drupa 2024」(ドイツ)





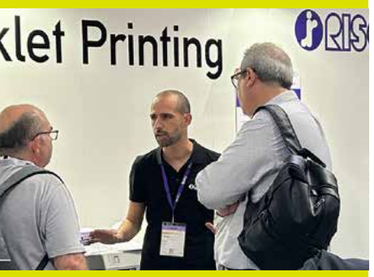
プロダクションプリンター市場向けブランド「VALEZUS(バレザス)」を展開

2019年より、プロダクションプリンター市場に向けた高速インクジェットプリンターのブランド「VALEZUS」を欧米で展開しました。『VALEZUS T2200』は、A4用紙にカラー毎分330ページ*の高速両面印刷を実現。中小規模の印刷業やデータ出力業、金融業や保険業、民間企業・官公庁などの大量印刷用途で、高速インクジェットプリンターの新しい可能性を広げます。2021年からは、国内でも販売を開始しました。



VALEZUS T2200

*プリント濃度:標準、2段給紙ユニット、チャート:電子協標準パターンJ6/ver.1使用時。



安定した消耗品の供給とメンテナンス体制 で 世界中のお客様から高い評価をいただいて います

理想科学の海外事業は、1986年に本格的にスタートしました。「未来を担う子どもたちのために、世界の学校教育の現場で当社の「リソグラフ」が役立ってほしい」という創業者・羽山昇の思いがそのきっかけでした。以来、欧州、米州、アジア、中東、アフリカなど世界190以上の国や地域の教育機関、官公庁、企業、地域社会などで支持され、その名も孔版印刷機の代名詞として広く世界で認知されるようになっています。

このような高い評価を得てきた要因には、性能の良さと品質の高さだけでなく、充実した消耗品の供給とメンテナンスにもあります。長期にわたり安心して製品を使っていただくためには、ハードウェアの信頼性はもちろん、安定した消耗品の供給と万全のメンテナンス体制があって初めて可能となるからです。

理想科学は、メンテナンス力をもつ販売店だけをビジネスパートナーとしています。日本・アメリカ・イギリスに設置した研修センターで技術研修を行い、随時メンテナンス力の向上を図っています。また、日本と同様のきめ細かなソリューション営業の展開と、22の海外子会社を含むRISOグループ約2,800名のスタッフおよび販売店でつなぐグローバルネットワークにより、多くのお客様の信頼を得ています。

めざしているのは、単なる国際化でなく、真のグローバリゼーションです。国境を越え、文化・言語・習慣を超えて世界がひとつになろうとするとき、そこに「RISOブランド」が息づいていること、これこそが理想科学の願いです。

理想科学のあゆみ

社名に掲げた「理想」をめざして
1946年

理想科学の歴史は、1946年9月2日、創業者・羽山昇の誕生日に1台の謄写版印刷機で始まった。羽山は陸軍士官学校58期生。少尉に任官するも、まもなく終戦を迎え復員。日本大学に進学したが、学費も家計もすべて自身で算段しなければならなかった。そこで生業として選んだのが、謄写版（ガリ版）印刷業だった。「日本がどうなってしまうかわからない、だからこそ人は理想を失ってはいけない。どんな時でも理想を買いていこう」この決心がそのまま社名となり、「理想社」を創業した。



1952年、インク研究に力を注いでいた頃の羽山昇

世界に類のない「プリントゴッコ」「リソグラフ」の誕生
1977年-1980年

この年代は、理想科学の開発への努力が花開き、孔版印刷総合メーカーへの躍進を果たした時代だった。家庭用と事務用の世界に類のない製品の誕生である。家庭用は1977年に発売を開始した「プリントゴッコ」。その直後から驚異的な売れ行きを示し、年の暮れの風物詩ともなった。事務用は、独自の“新孔版”技術によるまったく新しい印刷システムを採用した「リソグラフ」。1980年の登場以来、常にこの分野をリードし続けている。



「プリントゴッコ」発売当時の実演風景。子どもたちに限らず、大人の興味や関心を引きつけた

理想科学の製品を世界中のお客様へ
1990年-

1990年代に入ると、理想科学は世界各地へ積極的に海外進出し、販売ネットワークの構築を進めた。理想科学初の海外現地法人RISO, INC.（マサチューセッツ州）の設立を皮切りに、世界各国に次々と営業拠点を設置。現在、22の子会社を有し、グローバルな活動行っている。また、1999年には、理想科学初の海外生産拠点として中国・広東省珠海市で操業を開始した。その後、上海・深圳・タイに工場を稼働し、グローバル体制へとシフトした。



ドイツ・ハノーバー国際見本市会場で開催したCeBIT2002に出展

1946-1974年 創業／印刷業から消耗品・ハードメーカーへ



謄写版「RISOグラフ」

1946年　・東京都世田谷区若林町で謄写印刷業開始、理想社と称す

1948年　・東京都中央区日本橋兜町に営業所開設、理想印刷社と称す

1954年　・国産初のエマルジョンインク「RISOインク」を完成、生産販売を開始

1955年　・理想印刷社を発展的に解消し、株式会社理想科学研究所を設立



1958年　・謄写版「RISOグラフ」発売

1963年　・理想科学工業株式会社と社名変更

1965年　・霞ヶ浦工場竣工

1967年　・孔版自動製版機「RISOファックスJF-7」発売

1972年　・OHP用フイルム製版機「RISOトラペンアップTU-230」・「RISOオーバーヘッドプロジェクター750」発売

1974年　・「RISOゼノファックスFX-150」・「RISOゼノマスター」発売

1975-1988年 孔版印刷総合メーカーへ躍進

1977年　・家庭用簡易印刷機「プリントゴッコB6」発売



1980年　・CIシステム導入

・分離型製版・印刷機「リソグラフFX7200・AP7200」発売



1981年　・筑波工場竣工

1984年　・一体型自動印刷機「リソグラフ007」発売



1985年　・理想沖縄株式会社設立

1986年　・アメリカにRISO, INC.設立 / 宇部工場竣工
・デジタル印刷機「リソグラフ007デジタル」発売

1989-2000年 デジタル印刷機のトップメーカーとして新孔版を世界へ

1989年　・社団法人日本証券業協会に株式店頭登録

1990年　・ドイツにRISO (Deutschland) GmbH設立

1992年　・イギリスにRISO (U.K.) LTD.設立

1993年　・フランスにRISO FRANCE S.A./スペインにRISO IBERICA, S.A./香港にRISO HONG KONG LTD.設立

1994年　・インナープレス方式のデジタル印刷機「リソグラフSR7200」発売
・タイにRISO (Thailand) LTD.設立

1995年　・南アフリカ共和国にRISO AFRICA (PTY) LTD.設立

1996年　・筑波工場が国際品質保証規格「ISO9002」の認証を取得

1997年　・メキシコにRISO de Mexico, S.A. de C.V.設立

1998年　・中国上海市に理想(上海)印刷器材有限公司設立

1999年　・中国広東省に理想(中国)科学工業有限公司設立

2000年　・同時2色デジタル印刷機「RISO V8000」発売



・イタリアにRISOGRAPH ITALIA S.R.L.設立
・筑波事業所が国際マネジメントシステム規格「ISO14001」の認証を取得

世界最速のインクジェットプリンター「オルフィス」誕生

2003年

「カラープリントをもっと安く、気軽に使いたい」。そんな思いを受けてオリンパス株式会社と共同開発したのが高速インクジェットプリンター「オルフィスHC5000」。ライン型印字ヘッドの採用、高速印刷に最適な油性顔料インクの開発など、これまでにないさまざまな機能を装備。さらに、デジタル印刷機「リソグラフ」で培った高速用紙搬送技術を融合させ、高速性・経済性を徹底的に追求したことにより、今までにない高速インクジェットプリンターが誕生した。



2003年 東京国際フォーラム(有楽町)で開催された新製品発表展示会

新たな開発拠点を開設

2013年、2020年

2013年茨城県つくば市に「理想開発センター」を開設し、分散していた開発拠点を集約した。さらに2020年には「理想開発センターII」を開設した。



理想開発センター

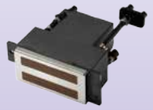


理想開発センターII

理想テクノロジーズ設立

2024年

2024 年 7 月からインクジェットヘッド事業を開始した。



2001-2012年
新世代ビジネスプリンターで、新たな市場へのチャレンジ

2013年-現在
理想を追い求めて

2001年 ・海外市場用コンパクトタイプのデジタル印刷機「RISO KSシリーズ」発売
・韓国にRISO KOREA LTD.設立

2003年 ・香港に理想工業(香港)有限公司設立
・理想新大阪ビル / 理想表参道ビル竣工
・高速インクジェットプリンター「オルフィスHCシリーズ」発売

2004年 ・「リソグラフMZ・RZシリーズ」発売



2006年 ・東京証券取引所市場第一部に上場
・インドにRISO INDIA PRIVATE LTD.設立

2009年 ・「オルフィスXシリーズ」発売
・アメリカにRISO LATIN AMERICA, INC.設立

2010年 ・ロシアにRISO EURASIA LLC設立

2011年 ・プリンター感覚の簡単スクリーン製版機「GOCCOPRO 100」発売
・タイにRISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.設立

2012年 ・中国広東省に理想工業(深圳)有限公司設立

2013年 ・「オルフィスEXシリーズ」発売
・茨城県に理想開発センター竣工

2015年 ・トルコにRISO TURKEY BASKI COZUMLERI A.S.設立

2016年 ・「オルフィスFWシリーズ」発売
・「リソグラフSFシリーズ」発売
・「オルフィスGDシリーズ」発売

2020年 ・茨城県に理想開発センターII竣工
・「オルフィスFTシリーズ」発売

2021年 ・プロダクションプリンター「VALEZUS T2100」発売
・「スクリレ」サービス開始
・「リソグラフMHシリーズ」発売
・「オルフィスGLシリーズ」発売

2022年 ・「VALEZUS T2200」発売

2023年 ・「ヨミヤス」サービス開始

2024年 ・理想テクノロジーズ株式会社設立
・「Integlide」発売



2025年 ・「デジパル」サービス開始

2026年 ・アメリカのRISO Screen & Digital Products Corp.を子会社化
・フィリピンのRISO Copylandia Philippines Corp.を子会社化
・「オルフィスGNシリーズ」発売



・「リソグラフSJシリーズ」発売

マテリアリティ(SDGs重点目標)

持続可能な社会のために、理想科学は「経済・社会・環境」の3つの側面でSDGsの達成に貢献します。

テーマ① 経済

お客様が必要とする価値を創造し提供します

私たちは「世界に類のないものを創る」を開発ポリシーとし、これからも製品やサービスを通じて世界中のお客様の生産性・経済性・利便性の向上に貢献します。



ECONOMY

テーマ② 社会

社会とのつながりを大切にします

製品やサービスを通じて、地域社会や学校現場などのコミュニケーションをより良いものにします。サプライヤーとのパートナーシップを推進し、法令を遵守した公正で透明性の高い調達を行います。社員一人ひとりが健康で、チャレンジと成長ができる風土の形成に取り組みます。



SOCIETY

テーマ③ 環境

地球規模での環境保全に貢献します

環境負荷を低減しつつ、お客様に長くお使いいただける製品を開発します。美しく健全な環境を次世代に引き継ぐために地球規模での環境保全に貢献します。



ENVIRONMENT

詳細はWebサイトをご覧ください
https://www.riso.co.jp/company/employee/sdgs/

理想科学のいま

● RISOネットワーク（2026年10月1日現在）



● 会社概要

社名	理想科学工業株式会社 (RISO KAGAKU CORPORATION)
代表者	代表取締役社長 社長執行役員　羽山　明
本社	〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル
創業	1946年(昭和21年)9月2日
会社設立	1955年(昭和30年)1月25日
資本金	14,114,985,384円
株式	銘柄コード6413　東京証券取引所プライム市場
従業員数	1,529名（グループ全体 2,856名） (2026年3月31日現在)
子会社	26社（国内 4社　海外 22社）
主要取引銀行	きらぼし銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、 三井住友信託銀行

● 取締役、監査役及び執行役員

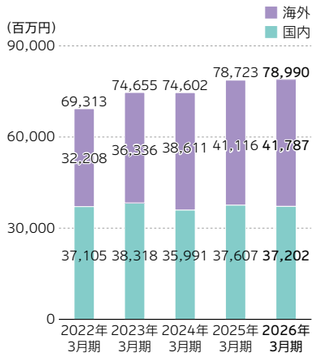
〔取締役、監査役〕		〔執行役員〕	
代表取締役	羽山　明	社長執行役員	羽山　明
取締役	川津　俊彦	執行役員	川津　俊彦
取締役	成宮　慶臣	執行役員	成宮　慶臣
社外取締役	権藤嘉江子	執行役員	大島　健嗣
社外取締役	渡部　秀敏	執行役員	鈴木　聡
監査役	高橋　勇一	執行役員	加藤　一宏
社外監査役	奈良　正哉	執行役員	手塚　寛太
社外監査役	谷口　博文	執行役員	中村　鐵也
社外監査役	垣本　昌久	執行役員	冨山　文弥
		執行役員	藤田　茂治
		執行役員	秋山　英樹

（2026年6月24日現在）　（2026年10月1日現在）

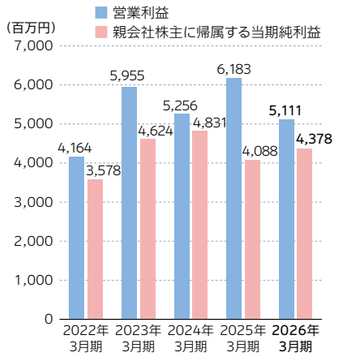
● 業績ハイライト

(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。

■ 売上高

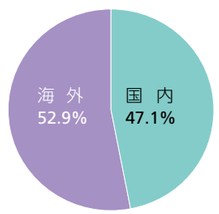


■ 営業利益／親会社株主に帰属する当期純利益



■ 国内海外売上高比率

(2026年3月期)



● 国内の主な子会社一覧

理想テクノロジーズ株式会社
理想沖縄株式会社

● 海外の主な子会社一覧

RISO, INC.
RISO LATIN AMERICA, INC.
RISO de Mexico, S.A. de C.V.
RISO (U.K.) LTD.
RISO (Deutschland) GmbH
RISO FRANCE S.A.
RISO IBERICA, S.A.
RISOGRAPH ITALIA S.R.L.
RISO EURASIA LLC
RISO TURKEY BASKI COZUMLERI A.S.
RISO AFRICA (PTY) LTD.
理想工業(香港)有限公司
理想工業(深圳)有限公司
理想(中国)科学工業有限公司
理想(上海)印刷器材有限公司
RISO HONG KONG LTD.
RISO (Thailand) LTD.
RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.
RISO INDIA PRIVATE LTD.
RISO KOREA LTD.
RISO Copylandia Philippines Corp.
RISO Screen & Digital Products Corp.

● 国内拠点一覧

■ 本社

■ 製造部門

筑波事業所
霞ヶ浦事業所
宇部事業所

■ 開発部門

理想開発センター
理想開発センターⅡ

■ 営業部門

東日本ビジネスパートナー営業部
東日本ビジネスソリューション営業部
首都圏ビジネスパートナー営業部
首都圏ビジネスソリューション営業部
広域営業部
営業開発部
文教営業部
システムサポート部
中部ビジネスパートナー営業部
中部ビジネスソリューション営業部
関西・四国ビジネスパートナー営業部
関西ビジネスソリューション営業部
西日本ビジネスパートナー営業部
西日本ビジネスソリューション営業部
RISOコンタクトセンター
プリントクリエイト事業部
デジタルコミュニケーション事業部

■ 営業所

札幌営業所
仙台営業所
新潟営業所
前橋営業所
さいたま営業所
つくば営業所
千葉営業所
首都圏公共第一営業所
首都圏公共第二営業所
東京第一営業所
東京第二営業所
東京第三営業所
首都圏文教営業所
神奈川営業所
多摩営業所
名古屋営業所
三河営業所
静岡営業所
金沢営業所
大阪営業所
関西公共営業所
京都営業所
神戸営業所
広島営業所
福岡営業所
熊本営業所

理想科学工業株式会社

〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル

ホームページ　https://www.riso.co.jp/

見やすいデザイン UCDA 第三者認証
1S2007002(6)

この制作物は、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会が、第三者の公正な審査を経て、ユーザーにとって見やすく配慮されたデザインであると認証したものです。

理想科学ソーシャルメディア公式アカウント

公式アカウント一覧はこちら https://www.riso.co.jp/sm/

2026.10